

学校名	同志社香里中学校
学年	3年4組
氏名	ハ木田優花

題名 税の意外な使い道  
 私が以前通っていた小学校のすぐ近くに「放課後等デイサービス」という施設がありました。それは、私が小学四年生の時にできた施設でその年にちまうど転校してきました。私と同じワラワラの隣がいのある友だちが学校が終わるといつまでもここに通っていました。毎日楽しそうに「今から行くんだよ」と私に言うてから向かうので、そこがどのような所なのかやそこで何をやるのか、とても興味を持って

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

いました。そこで、ある日その友達に「私もここでどんなことをしているのか聞いてみる」と、たいていの日は学校の宿題をしたりおやつを食べたり、同じくそこに通っている友達と体を動かしたりゲームをしたりして遊んでいるといふことや、年に数回は季節のイベントでお楽しみ会のようなこともするといふことを教えてくれました。

調べてみると「放課後等デイサービス」は

六歳から十八歳までの、障がいがありたり発

中学生の「税についての作文」用紙用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
837	1696				

達には特性のある子どもが、平日学校が終わる  
 てからの故課後や、春休みなどの長期休みに  
 利用できる福祉サービスタというところが分か  
 りました。それぞれの子どもに合った発達支  
 援を受けたり集団で活動することを通して、  
 家と学校以外にも居場所ができたり友達を作  
 ったりすることができるとです。  
 そんな魅力的な施設をいつたいどのくらい  
 の人が利用しているのかが気になり、さらに  
 調べてみました。厚生労働省統計情報の「障

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

がい福祉サービスタ等の利用状況についてレ  
 によると、制度がスタートした二〇一二年の利  
 用者数五一六七八人から、二〇一六年七月に  
 は一三九七一八人と約三・八倍に増えていて  
 利用者の人数は現在もどんどん増えているこ  
 とが分かりました。

こんなにも良い施設なら利用するのにしても  
 お金がかかると思うかもしれません。が、利  
 用料は実際にかかる費用の一割だけ負担すれ  
 ば良いように、残りは税金でまかなわれています。

中学生の「税」についての作文「印刷用紙

方といふことでした。こんなところには税金が  
 使われていたりというのを知りなかつたので  
 とても驚きました。が、同時にとても嬉しい気  
 持ちはになりました。これほどたくさんの方が  
 利用したいと思うサービスがこれからはどの  
 どん増えて、さらに申定して継続できるよう  
 になると思います。  
 みんなが税金を払うことによつてそれが成  
 り立つのなら、私は大人になって仕事に就い  
 たら、しっかりと税金を納めたいという気持  
 ちになりました。また、このような税の意外  
 な使い道なども知つてみたいと思いま  
 した。

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

中学生の「税」についての作文(原稿用紙)